

茨高
茨中

春 秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 後藤 直樹
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



卒業にあたって

PTA会長 後藤 直樹

ご卒業、おめでとうございます。皆さんが立派に卒業されることを心より嬉しく思います。

皆さんは、この三年間、勉強、部活動、課外活動に一生懸命に取り組んできたことと思います。楽しいときもあつたでしょうし、時にはうまくいかずに逃げ出したくなるくらい辛いことがあつたかもしれません。どんなことであっても、その一つ一つは皆さんにとって、とても貴重な経験です。学校生活における、すべての経験が皆さんを作り上げ、成長をさせてくれる糧となります。

さて、卒業するとは、一つの区切りをつけるということなのです。皆さんは、これまでの学校生活に区切りをつけて、新しくスタートしなければなりません。

新たなスタートをする皆さんに伝えたいことがあります。まず、大きな夢を持ち、自分を信じて生きていくってください。

そのためには、「夢や目標をしっかりと持つ」ようにしてください。夢や目標がなければ、これからをただ無為に過ごすだけになってしまいます。これから時間をどのように過ごすかによって、皆さんの未来が変わり

ます。今から時間を大切に使うてください。

次に「努力」してください。努力してもかならず成功するとは限りません。しかし、努力した者にのみチャンスは訪れます。チャンスを手に入れたのであれば、しっかりと努力をしてください。

最後に、「友だちを大切に」してください。大人になってしまつと、なかなか一生の友だちと呼べる人にはめぐり会えません。しかし、中学高校時代の友だちは一生の友だちになります。三年間、同じ学校で、青春の時を過ごした。そのことで、学校時代の友だちは、一生の友だちになります。友は、人生にとって、かけがえのない財産です。卒業しても、友だちを大切にしてください。

皆さんの、これからの人生には無限の可能性が 있습니다。それを心から信じてください。過去を変えることはできませんが、未来は変えることができます。それを変えることができるのは皆さんだけです。これから、いっぱい夢を抱え、いっぱい勉強し、いっぱい運動し、いっぱい笑ひ、いっぱい人生を謳歌してください。

旅立つ将来に少しは不安もある

るかもしれません。しかし、皆さんには本校で過ごした三年間という何にも代えがたい実績があります。それを信じて、前に進んでいってください。



学び続けよう。一人の人間として、君らしく

校長 鬼形 正人

本校C棟小会議室前の廊下には、生徒の描いた絵画そして書が展示されています。どちらの前でも必ず足が止まり、しばらく眺めてしまいます。

ある学年フロアの廊下に生徒が自作した短歌が張り出されて

いました。それぞれの短冊には、それぞれ違うフォントで短歌が書かれています。祖母への思い、母への思い、大切な友のこと、自分のこと、将来のこと、縦一尺三寸、横三寸（一寸は約三センチ）の一葉の短冊にひとりひとりの生徒が映し出されています。日常の会話や行動からだけではうかがい知ることのできない本物のひとりひとりがそこにありました。前述の絵画や書も同様です。どんなにAIが進歩し、社会の合理化が進んでも、人が素直に正直に表現したものに触れることで生じる心地よさ、いとおしさ、そしてよい意味でのせつなさは、人間らしくあることの基本であると思います。

中学三年生の諸君。人間性が豊かであることが、高校での学

これからの人生が皆さんにとって素晴らしいものとなりますように心より祈っております。

びをより深く君らしいものへと導いてくれます。君の思い・想い・考えを大切にしてください。将来の自分を設計する大切な高校生活は、人間的に大きく成長し自分を発見する三年間なのです。

林竹二という教育学者は『学ぶということ』という著書の中で「学ぶということは覚えこむこととは全く違うことだ。学ぶとはいっても何かがはじまることで、終わることのない過程に一步踏み込むことである。（中略）学んだことの証は、ただ一つで、何かが変わることである。」と述べています。

本校を卒業する高校三年生の諸君。君達は本校で学び、何が変わったろうか。そして、学ぶという終わることのない過程に踏み込む覚悟はできているだろうか。

ステイブ・ジョブズ氏はあるスピーチで「点と点をつなぐ」ことの大切さを述べています。リード大学でのカリグラフィ（文字を美しく見せるための手法）の学びが後のMacintosh

の独創的なフォントに生かされました。MacintoshというPCはそのフォントによって道具として愛される個性を獲得しました。人が創り出したものには、必ずその人らしさが表現されるものです。

「点と点をつなぐ」における点となる学びとはどのようなものでしょうか。それは、他者や状況への配慮に動機づけられたものではなく、将来役に立つからではなく、自分の中から聞かえてくる「本当の自分」の声にうながされて、なされるものです。

「本当の自分」を探し続けてください。そしてその声に従って、学び続けてください。

必ず自分だけの「創」にたどり着くことができるはずですが、自分らしく、人間らしくあることは、建学の精神「報恩感謝」を体現するための基本です。君らしく、人間らしく、自分の可能性を信じて一步一歩進んでください。

茨城高等学校・中学校はいつも君を応援しています。



高校卒業おめでとう

皆さんの笑顔

高校三年学年主任 遠藤 康



三年間を頭の中で振り返ってみま
した。入学式での緊張した面持ち、
新しいクラスになじんでいくきつ
けとなった遠足、廊下いっばいに広
げた段ボールを切ったり貼ったり
した文化祭、闘志をむき出しにして
燃えたクラスマッチ、大きな達成感
を味わったマラソン大会、詰め込
んで臨んだ定期試験、授業中の真剣な
まなざしと眠気との格闘、休み時間
の何気ない雑談に大騒ぎした毎日、
日は必ず来るものなんですね。

ほとととした放課後のひとときと部活
の頑張りの。校内のどこを見ても、
視界のどこかには必ず君たちの元気
な姿が見えていた三年間でした。こ
の三年間は私自身、辛いこと、大変
なこと、悩んだことがたくさんあり
ましたが、今は全て忘れてしまいま
した。記憶に残っているのは皆さん
の笑顔だけです。永遠に続いていく
と思っていた毎日なのに、終わりの
日は必ず来るものなんですね。

卒業生へ

高校三年A組担任 熊山こずえ



ご卒業おめでとうございます。

かつて、日本では命を「たまのを」と表現しました。「玉」とは、真珠の如く美しいものの形容、「緒」は大切なものをつなぎとめることから生命を指します。私達はその「玉の緒」を脈々と受け継いで生きています。

いつか、「艱難辛苦、汝を玉にす。」そんな境地に到達した時には、十八歳の今の自分を思い出して、愛おしく思えることでしょう。

卒業生、それぞれの未来に、大いに幸あらんことを願っています。

人生百歳時代の到来と言われる

今、君達は、あらゆることに挑戦することが出来ます。人生に何を夢見て、どう行動し、何を遺していくかは、他人にはわかりません。ただ、君達はその過程において苦しみも喜びも味わうことができます。そして

人生とは樹木のような構造をして

いる、と私は思います。あちこちに

生えた根っこが、茨城高校という幹

でまとまり力を蓄え太くなり、卒業

を機に再びたくさんの方に枝葉を

広げていく。そして、その枝葉に大

輪の花を咲かせ、大きな実を実らせ

ていくのはこれからの皆さんの大き

な仕事となります。高校生活で蓄え

た力をもとに、皆さんの今後の活躍

を大いに期待しています。卒業おめ

でどう。

対話すること

高校三年B組担任 佐藤麻希絵



人生は決断の連続。みなさんは

と対話することです。こちらは、自

分が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

が対話することもないし、相手

祝・卒業！

高校三年C組担任 松田 養一



ご卒業おめでとうございます。

新たな門出の日を迎えた皆さんは、今何を思うのでしょうか。常に心に留めておいてほしいのは、今後日本の社会が激変するということです。少し前までは、大学を出て就職すれば、ある程度その後の人生を想定することが出来ましたが、今やAIやロボットに自らの職を脅かされる時代です。社会保障費を支えるために、現役世代が重い税負担を強いられる時代でもあります。さらには、外国人が当たり前に隣人となる時代なのです。

皆さんは、自らの見識を頼りに、

より良い将来を選び取らなければなら

りません。自らの人生は、自ら切り

開いていくしかないのです。日本か

らは逃げ出しても事情は同様です。頼

れるのは自分自身だけなのです。

では、如何にして自らの見識を高

めるのか。ぜひ先人の知恵を学んで

ください。頼れるものが自分だけだ

からこそ、より優れた判断基準を自

分の外側に見出そうと努力するべき

なのです。

激変する社会において皆さんがそ



卒業するみなさんへ

高校三年D組担任 内田 裕史

ご卒業おめでとうございます。
あつという間に過ぎたであろう三年間、その限られた時間の中でも、できるだけことはやっと思えるのなら、茨城高校での生活が君たちの今後の人生において大きな意味を持つものになるはずだ。

人の選択に「完璧」というものは存在しません。どのような選択であれ、必ず不安と迷いは付きまといま



夫子の道は忠恕のみ

高校三年E組担任 廣光 正人

恕という言葉は最初に知ったのは私が中学を卒業するときでした。尊敬する数学の先生が私たちの卒業にあたり饒の言葉で贈ってくれました。最近、忠恕という言葉が脚光を浴び、再び恩師の言葉を思い出しました。

ところで最初のタイトルは、夫子はふうし、忠恕はちゅうじよと読みます。この言葉は「論語」の一節にあり、孔子の弟子であった曾子が言ったと伝えられています。忠とは「自己の良心に忠実なこと」、つまり「まごころ」です。恕(怒ではありませんが、念のため)とは「他人の

身になってみて考える知的な同情、つまり「思いやり」です。したがって忠恕とは「まごころと思いやり」です。孔子は、様々な教えの中に一貫して、人間にとって一番大切なのはまごころと思いやりであるということです。

これから、様々な方面で活躍されるであろう皆さんに、どんなに社会的地位が高くなっても、どんなに裕福になっても、人として大切な忠恕の精神を忘れず精進してもらいたいと思い、この言葉を贈ります。



卒業おめでとう

高校三年F組担任 高木 啓太

卒業おめでとうございます。三年間共に学んできましたが、本当に短く感じます。「心」も「学力」も「体」も立派に成長し、とても頼もしく感じます。そして君たちがここまで成長できたことは、決して自分一人の力だけではありません。温かく支えてくれた多くの方々に感謝して、卒業を迎えてください。四月からはそれぞれがまた新たなステージへ進み、みなさんの人生にとってとても大切な期間となります。これからは「どの大学に進学できたか」よりも、「大学でどのように努力するか」が大切です。学歴は、それが無くて



人生の土台

高校三年G組担任 横倉 友博

この三年間で君たちが得たものは何だろうか?ここで過ごした時間は、君たちの生きてきた時間の六分の一だ。三十歳になったら十分の一、九十歳になったら三十分の一に過ぎない短い時間だ。そう考えればとても短い時間ではあるけれど、高校卒業は人生の大きな節目だ。世の中には高校生活よりもずっと楽しいことが溢れていて、高校はそんな未来を豊かに過ごすための土台を作るような場所なのだと思ふ。どんな三年間を過ごしたとしても君たちを支える土台になることは確かだ。だから、将来、高校生活を思い出して「あ

この三年間で君たちが得たものは何だろうか?ここで過ごした時間は、君たちの生きてきた時間の六分の一だ。三十歳になったら十分の一、九十歳になったら三十分の一に過ぎない短い時間だ。そう考えればとても短い時間ではあるけれど、高校卒業は人生の大きな節目だ。世の中には高校生活よりもずっと楽しいことが溢れていて、高校はそんな未来を豊かに過ごすための土台を作るような場所なのだと思ふ。どんな三年間を過ごしたとしても君たちを支える土台になることは確かだ。だから、将来、高校生活を思い出して「あ



先生からのメッセージ



高校三年学年付

上村 和朗

ご卒業おめでとうございます。学年には今年から加わりましたが、授業は一年から持っていました。この学年の生徒の特長は、真面目で誠実な点であり、様々な事に努力したと思います。時代は変わると思いますが、確実に変わる点は寿命が延びる点です。新時代に対応する一番大切なものを皆さんは持っています。



高校三年学年付

小林 秀樹

ご卒業おめでとうございます。この学年に関わったのは一年間だけでしたが、受験期を共に過ごすことができたことに感謝します。三年間の高校課程を終了したことは日々のみなさんの努力の賜物です。自信をもって次のステージへ進んでください。努力できることが才能であると言われるます。今後のご活躍を陰ながら願っています。



高校三年学年付

高橋 俊和

卒業おめでとう。こんな恵まれた環境で学べたこと、自分で進路を選ぶ幸せを感じていますか。家族を始め多くの人達のお陰で今の自分があることも。「感謝の気持ち」は向上心の原動力です。活躍を心から祈ります。

一生を終えて後に残るのは
我々が集めたものではなく
人に与えたものである。

ジェラル シャンドリ

～高校卒業にあたって～



三年A組

佐久間順菜

私にとって三年A組の一員として過ごしたこの一年は大変中身の濃い年であり、あつという間でした。A組はやる時はやる、楽しむ時は全力で楽しむというクラスだったからこそ辛い時も苦しい時も共に支え合ってここまで来られたと思っています。A組の皆と熊山先生に感謝です。一年間ありがとうございました。



三年E組

五十嵐 彩

私にとって茨城高校で過ごした三年間は、色々なことを乗り越えて成長できた有意義なものになりました。保護者の方々や先生方、その他多くの人に支えられて今の私たちがあります。そのことをしっかりと心に刻み、感謝して、これからそれぞれの人生を歩んでいけたらいいと思います。ありがとうございました。



三年B組

宇留野優人

希望を胸に抱き茨城高校の門を叩いた三年前と比較すると随分と大人びたに違いない。卒業が間近に迫っているにも関わらず、いつまでもこの高校生活が続くのではないかと思ってしまう。勉強、部活、友人関係、恋愛、全ての思い出が有限で一度きりの高校生というフィルターに掛かり、鮮やかに輝いて見える。それはひとえに両親、先生方の御陰だ。三年間支えて頂きありがとうございました。



三年F組

鈴木 晁久

長かったようであつという間の三年間でした。思い返せば楽しい事も苦しい事もたくさんありました。中でも高校最後の一年間は、勉強に明け暮れる濃密な時間を過ごし、多くの生徒は選挙権を得て、社会に参加することの意義を改めて深く考えさせられて、我々は大きく成長しました。これからは報恩感謝の言葉を胸に、皆それぞれの夢に向かって旅立ちます。三年間ありがとうございました。



三年C組

高橋 優斗

私たち三年C組は、謹厳実直なA組と潑刺としたB組の丁度中間のようなクラスです。他クラスに比べて目立たない、なんて思われているかもしれませんが、担任である松田先生のご指導の下で各々が自らの目標に向かって日々努力を重ねてきました。受験生としてだけでなく人間としても成長できた三年C組、そして茨城高校に誇りを持ち、自分達の糧にしたいと思います。ありがとうございました。



三年G組

田中 佑樹

「出会いとは宝」。私の好きな言葉です。先輩、同級生、後輩、そして先生方との出会いの中の三年間は、本当に様々なことがあり、慌ただしい一方で、洗練されていました。仲間達との別れは悲しいですが、それは彼らが、それだけ大切な友人達だったことの裏返しであると確信があるからこそ、私は笑顔で卒業します。多くの出会いをくれた茨城高校と、出会った全ての人々に感謝します。ありがとうございました。



三年D組

吉見 爽良

原稿を書いている今、茨中入試から既に六年が経っていた。今年四月、勉強するには最適すぎるくらいに静まり返る教室。しかし瞬間に時が過ぎるうち皆なじみ、入試へ赴く級友を、がんばって！と温かく送り出す声。今日も教室に響く。充実した六年間を通して成長でき、D組に入れたのも、この学校に入學させてくれた両親そして先生達のおかげだ。この報恩感謝の気持ちを忘れず生きていきたい。



中学卒業にあたって



三年学年主任
榎山 俊彦

小さな体に真新しい制服をまとった君たちが、三年の間に大きく成長し、私の前に立っています。ずいぶん大人になりましたね。

入学してから卒業のこの日まで、授業や部活動、また体育祭や修学旅行など、様々な時間を学校の仲間たちと過ごしてきました。

この中で、嬉しかったり楽しかったり、辛かったり悔しかったり悲しかったり、きつと色々な感情が沸き上がったはず。時には、自分や他者を傷つけてしまった失敗もあったことでしょう。この時、自分のため、他者のためにどう行動すれば良いのか、大いに悩んだはずです。一つひとつの試練を乗り越える努力が、君たちを大きく成長させました。

これから君たちが進む、高校、大学、社会には、これまで以上の苦労や困難が待ち受けています。でも怖気づく必要はありません。それは君たちを成長させる大きなチャンスです。挑戦する気持ちを持ち続けて下さい。

経験は、君たちの宝です。人生を共に過ごす仲間を増やし、絆を深めて下さい。そして多様な価値観の中で、自分はどう生きるべきなのか、これからも学び続けて下さい。

三年後、さらに成長した君たちが会うのが楽しみです。卒業おめでとう。



三年A組担任
岡部 将也

茨城中学校のご卒業おめでとうございます！みなさんにとって茨城での三年間は長かったでしょうか？短かったのでしょうか？私にとってはたくさん思い出もあり、あつという間でした。みなさんは、普段の授業、林間学校、ブリティッシュヒルズ、研修旅行など様々な活動を全力で取り組み、私も楽しく活動することが出来ました。高校では今まで学んだことを活かし、自分の将来に関して考える三年間になることを期待しています。何事も諦めず夢叶うまで挑戦だ！



三年B組担任
那須田 正人

「常識とは、十八歳までに身につけた偏見のコレクションである。」物理学者アインシュタインの言葉です。「人は成長過程で多くの知識を教わり、初めての体験を経る。もしも貴方がそれらを無批判に受け入れて人生を歩めば、その先に貴方の幸福はあるのか。」との問いかけに思えます。茨中を卒業する素直で心優しい皆さん。「批判的精神」を養い、真実が見えづらいこの社会の中で、貴方なりの価値観を育み、幸福な人生を逞しく歩んで下さい。おめでとう。



三年C組担任
浦井 雅之

誰でも卒業はできる。大切なのは、卒業までに何を為したか、である。本校創立の起源である水戸藩校弘道館の校是は「文武不岐」。教授頭取であった会沢正志斎は、孔子を引き「夫古之者文武一途有文事者必有武備」と言う。学問だけではひ弱にしか育たない。武芸だけでは馬鹿になる。バランスが大事なのだが、その加減に迷う。ならばいつそ全部やろう。挑戦しよう。その気概を育てるのが本校の使命。さて、皆さんは高校では、何を為す「おつもりですか。



三年D組担任
安達 紘人

D組のメンバーと共に歩めたことを幸せに思う。学校行事にひたむきに取り組む誠実さ。互いをリスペクトし、謙虚な姿勢で自己の向上に努めた尊重の精神。皆が生活しやすい環境にしようと、クラスに働きかけた献身的。それらの実践が学びの場を築き上げた。その中で学び合えたことに感謝している。一年を経て、たくましく成長した姿がある。将来どんな仕事に就いてどんな活躍をしてくれるのか、一層楽しみが膨らんだ。今後の健闘を期待している。



三年E組担任
蒔田 宜幸

卒業おめでとうございます。ありがとうございます。振り返りますが、みんなはこの三年間で大きく成長しました。「継続は力なり」自分が大学卒業の時に、楽器の先生からいただいた言葉です。やめるのはいつでもできます。ですが続けることは難しい。四月からは高校生です。これから、より多くの困難が待ち受けていますがみんなはこれからまだまだ成長します。自分が始めたことをしつかりと続けて欲しい。諦めない気持ち、やりきる力が将来の自分にとって大きな力になるはずです。



三年学年付
坪井明日香

卒業おめでとうございます。皆さんもいよいよ高校生ですね。高校生になると、中学時代よりも選択の自由が増えます。学校生活でもその他の場面でも、これまでに感じたことのないさまざまな自由を感じることが多くなるでしょう。

ただ、皆さんに覚えていてほしいのは、自由の裏には常に責任があるということです。自分の選択とそれに伴う結果に責任を果たしながらも、皆さんには存分に自由を謳歌してもらいたいと思います。



三年学年付
山崎 忠則

茨城中学校での三年間の生活が過ぎようとしている今、皆さんの心の中には、どのような思い出が残っているでしょうか。授業、テスト、宿題、部活の練習や合宿大会、学校行事など、たくさん経験を経験を積み重ねて、自分を成長させてきたことでしょう。皆さんの思い出を振り返りたいたくさんの手元には「スコラ手帳」があります。改めて、自分の三年間を振り返り、高校での三年間の過ごし方を考え、夢の実現に役立てて下さい。



3年間を振り返って



三年A組
柏木 夏海



三年B組
鴨志田 涼



三年C組
郡司 清信



三年D組
小澤 和弥



三年E組
石塚 黎

茨中で三年間はあっという間に過ぎ、気がつけばもう少して卒業です。僕は、学校生活での思い出が沢山あります。例えば、体育祭やクラスマッチなど楽しかったことや、定期テストで苦い思いをしたこともありましたが、三年間を振り返ってみれば、どれも良い思い出として僕は感じられます。もし今、三年間で一番の思い出を聞かれたら、「京都奈良研修旅行」と答えます。A組で行ったから得ることができた思い出が沢山ありました。来年からは高入生も入ってもっと賑やかな学年になります。高校三年間も楽しみつづけて頑張っていきたいです。

僕は中学の三年間を振り返って思ったことがたくさんあります。この茨城中学校に入学する前は今は違う目標があったのですが、この三年間個性豊かな仲間達とたくさん接することによって、僕はいろいろな考え方をすることができるようになりました。特に、体育祭、クラスマッチ、合唱大会などの行事では、一人一人が一生懸命に取り組む姿に感銘を受けました。僕は行事を通じて、一つ一つのことに一生懸命に取り組むことができるようになりました。高校に入学してもこのことを意識して学校生活を送りたいと思います。

僕は、中学校生活三年間を振り返って、とても早かったなあと思いました。また三年間でたくさんの良い経験をさせてもらいました。そんな充実した生活を送れたのは、友達や先生そして家族のおかげだと思います。中学校生活で学んだ「人との繋がり」をこれからも大事にしていこうと思います。

私はこの三年間で「報恩感謝」は大事だなと思うことがとても多くありました。茨城中学校はたくさんの方の行事がありますが、その行事でそれぞれの「報恩感謝」がありました。そして今は茨城中学校に通わせてくれ、たくさんの経験をさせてくれた親や、私達が充実した学校生活を送れるような環境を作ってくれた先生方、一緒に三年間楽しく過ごしてくれた友人達などたくさんの方に感謝しなければなりません。それと同時に今までの世話になった分以上に様々な事に頑張る必要があるため、残り三年間全力で毎日過ごしていきたいと思います。

僕の、三年間を振り返って一番の思い出は研修旅行です。僕は、この研修旅行で成長することができました。例えば、タクシー研修のことです。僕はこの研修の事前レポートの作成の時、みんなで協力をして物事を行う大切さを知りました。僕は、今までは誰かが何かをやっていたけど、手伝わなければならないことがありますが、この研修を終えてからは、積極的に友達に協力するようにになりました。また、時間を守ることの重要さを再確認しました。

僕は、研修旅行で学んだことを活かして、高校生活を過ごしていこうと思います。



茨城高等学校
小坂部 聡子
西村 みどり
清水 えり香
石塚 綾子
豊田 真奈美
飛田 信枝
古川 陽子
溝口 明子
一瀬 由紀子
岩本 厚子
加藤 香子
村上 純子
鈴木 妙子
白石 敦子
長谷川 好子
齊藤 和子
中江 美子
久保 恵子
大谷 総子
山本 亜貴子
吉見 麻子
梶田 里美子
宮田 悦子
高橋 靖子

平成30年度
文化広報委員